

第31号

コーセン・はつぴーライフ俱楽部通信

連絡先
0859-75-2124

暑すぎた夏が過ぎ、大山から吹き下ろす北風に思わず襟元を押さえてしまつこの頃、あつという間に2010年が終わり2011年を迎えます。振り返るほどいろいろなことがありました。宮崎県の口蹄疫、管新内閣誕生、惑星探査機ハヤブサ帰還、参議院選挙、所在不明の高齢者、五年ぶり国勢調査、尖閣列島に北方領土の問題など私たちを取り巻く環境は益々あわただしさを感じさせます。

しかし、賢明な会員の皆様は堅実に日々の暮らしを積み重ねておられると思います。弊社も会員の皆様に支えられて着実に歩んでいます。本当に有難うございます。

11年度は小さくするリホームを提案したいと考えています。その人にとって大きい家、広い土地、いずれも管理という問題と共存します（お墓も同じです）。手入れがしやすく管理が易しくなる方法を皆様と一緒に考えたいと思います。

おかげさまで2010年は鳥取県より優良工事表彰を受けることが出来ました。これを機会に私も社員も日々研鑽に励んでいきます。会員の皆様の『生涯利益』の実現のために労は惜しみません。いつでもお気軽に声をかけてください。『建設の出来るサービス会社』として誇りを持つて務めさせていただきます。

トライ年の次はウサギの年です。長い耳でしつかりと情報を集め、頑丈な足で素早くそれを届けます、変わらぬご支援をお願いいたします。おわりに、会員の皆様のご声援のお礼とこれからの方々の幸運を願い、今号の挨拶といたします。



冬の大山

最近、気のせいいか山陰、とりわけ中海を中心とした話題がよく取り上げられられるような気がします。出雲・境港・大山と私達のふるさとは、大いなる古代遺産がたくさんあります。記者によつてはやはり大山がいろいろな意味で一番です。これからも撮り続けたいと思います。これは、冬の初め雪をまつた大山です。大山の写真は、定点撮影していましたが、次号より各地からの姿を紹介したいと思います。お楽しみに。



11月6日江府町せせらぎ公園にて『第5回コーセン・はつぴーライフ杯グラウンド・ゴルフ大会』が開催されました。すばらしい青空に恵まれて参加された選手の皆さん是一打一打真剣にプレーされました。開式に当たり江府町副町長の宮本様から祝辞をいただきました。そして、見事57打の成績で優勝に輝いたのは、江府町江尾の板垣隆久様でした。

表彰式にはユニークな賞品に笑いや歓声が上がり、楽しいひと時を全員で分かち合いました。

第6回は、2011年6月頃の予定です。たくさんの方に参加していただきたいと考えています。知人・友人で、またグループでお申し込み下さい。今から首を長くしてお待ちしています。

グラウンド・ゴルフ大会

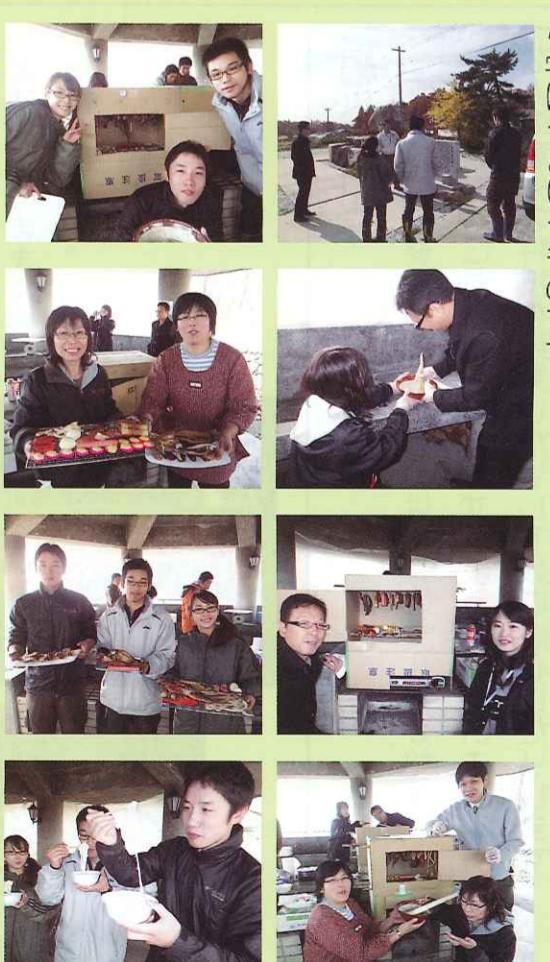


内容は、燻製の理論から始まりスモーカーの作成、食材の加工とスマート、そして完成を待つ間に自然薯畑に移動して自然薯の学習と掘り取り体験。開拓記念碑では奥大山周辺の歴史も学びます。短時間ではありますが、なかなか濃い内容となっています。参加された方の中には、遠くは愛媛県や大阪のかたも。もちろん地元の方も熱心に体験していただきました。

今年の自然薯はやや小振りながら品質もよく粘りや味も抜群です。各チームとも見事にいぶしあがった燻製と宮市産こしひかりに各自で味付けしたトロロ汁を山盛りにかけて、何杯も何杯もお代わりをされていました。また、地元美用レディース手作り野菜の田舎汁も同じく大好評でした。

川端社長は、「何時でもどこでも何人でも希望があれば教室を開きます」と挨拶の中で語っていました。会員の皆さんで興味のある方はどうぞ事務局まで連絡ください。

会員の皆さんで興味のある方はどうぞ事務局まで連絡ください。

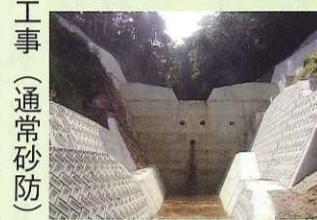


11月14日と21日、休暇村奥大山にて表記の教室を開きました。これは川端社長の特技を生かして、奥大山周辺の自然の中で健康のこと、食べ物のこと、農業のことなどを実際に自分たちで体験しながら学ぼうというものです。

燻製教室と自然薯掘り取り体験とクッキング

建設現場コーナー あつぱれ！優良工事受章

この度鳥取県より優良工事の表彰を受けました。これは平成21年度の県工事の中から特に優れたものを選び表彰するものです。今回顕彰された工事は対象工事数1・419件のうち32件です。近年完成検査が非常に厳しく精密になり基準点をクリヤーするのは難しく、受章件数は減少傾向にあります。その様な状況の中の受章は、はかりずも弊社の技術力の高さが証明されたものです。（もちろん関係の皆様の絶大な協力の賜物であることは言うに及びません。本当に「お世話になりましたありがとうございます」といいます。）そして、この技術力を土台として新築成新設、『おにさび砂舗装』などがあります。どうか安心してお任せください。



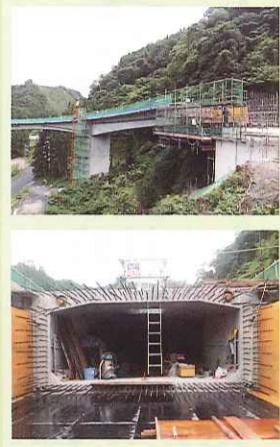
莊支川砂防堰堤工事（通常砂防）

右から現場代理人 小倉信彦・社長・主任技術者 遠藤新二

こちらの写真はつい先ほど完成検査を受けたときの様子です。国道のバイパス工事で橋台を2基作りました。検査は朝9時からの書類検査に始まり、「」観の現地の検査が終わるのは夕方となりました。見えている部分はほとんど計測します、見えない部分は写真での検査になりますが、上の写真の場合は基礎杭を入れるところの下に10メートル以上も埋まっていますので、それを証明する写真や書類は膨大な枚数になります。この場合、写真は少なくとも1000枚以上になりますので、毎日の積み重ねが大切となります。

皆さん道道路工事などで、高い柱から左右に二ヨキ一ヨキと腕を伸ばしてつながっていく橋の工事を見たことがありますか？これは「片持ち張出し架設」といい又の名を「やじろべえ工法」（ディビダーケ）といいます。先端はシートで覆われていて普段は見ることが出来ません。珍しいので発注者様の了解を得て少し紹介いたします。ちなみにこういった橋の場合、桁の断面は空洞になっていることがほとんどです。このバイパス工事の橋も例外ではなく場所によって異なりますが幅4.5m、高さ3.5m位あります。非常に複雑な作業と検査の繰り返しによりつながって完成しますが、皆さん生命的の安全がかかっていますから当然といえば当然ですね。

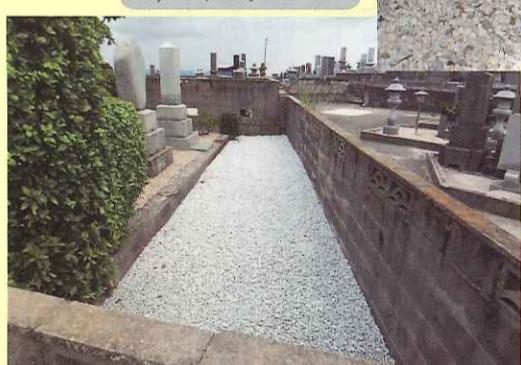
豆知識



ビフォーアフター



アフター



奥大山自然薯も終了時間が待たずに完売することができました。西ノ島町の皆様本当にお世話になりました。ありがとうございます。

また本年からは「写真のよくな真空パックも発売します。そのまま冷蔵庫で長持ちします。



ビフォーアフター

浅田家

自然薯通信

十月の終り、江府町の記念事

業で島根県隠岐の島へ自然薯をもって出かけ、地元西ノ島町では大変な歓迎を受けました。

江府町の野菜や特産品に混じって自然薯を販売しました。

野菜類の人気は高く瞬く間に売



編集後記

実りの秋を終えると各地区では一斉に文化祭が始まります。

記者もあちこちの会場を観覧するようにしています。時折意外な人の意外な特技を発見したりして妙に感心したりします。

先日「こんな会話をありました。『江一、「一セんさんて家も建てるだー』」のもつともです、宣伝不足です。もうしわけありません。もう何件も建てているのに・・・」

連絡先

電話番号

0859-91-2124 川端まで

